旧利別小学校跡地子育て支援施設等整備事業に関する
サウンディング型市場調査の結果について

令和７年 12 月９日
保健子育て課子育て支援係

１　要旨・目的

旧利別小学校跡地子育て支援施設等整備事業を実施するにあたり、民間活力を導入した事業手法を検討するため、下記期間においてサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果を公表します。

なお、本調査においては、公表内容以外にも多くのご意見をいただきましたが、参加事業者の知的財産保護の観点から、参加事業者の承諾を得た内容のみを公表しています。

２　実施期間

令和７年 10 月 15 日（水）～10 月 31 日（金）

３　参加事業者数

１者

４　事業者からの主な意見

①　運営方針

ア　運営方法について

・自社のノウハウを生かした自主事業を展開できる指定管理者での運営方法が望ましい。

イ　直営部分の清掃業務や敷地内の草刈業務等、施設の維持管理の対応可否について

・屋外遊具の点検なども含め、幅広く対応可能。

ウ　スタッフの資格種別と確保方策について

・館長１名、社員１名、パートタイム６名の計８名程度が必要。
・地元人材採用を優先とする。
・土日祝日の繁忙期でも、遊び場の見守りは２名配置で足りると想定される。
・施設の開館時間（午前８時 45 分～午後５時 30 分）は変更となっても柔軟に対応可能。

②　収益事業

ア　自主イベント等の収益事業の実施意欲

・積極的に実施したい。賑わいが少ない平日の午前中に実施するなどが想定される。
・屋外まで指定管理者の範囲になるのであれば、屋外イベントも実施可能。

③　その他アドバイス等

・行政機能も施設内にあるため、光熱水費の負担方法は事前に協議することが望ましい。

・【一般ゾーン】と【運動・体験ゾーン】の休館日が年末年始（12 月 29 日～１月３日）となっているが、施設内の清掃や設備の修繕などを考慮すると、月に一度休館日を設けることが望ましい。

・遊具について、オープン当初は大勢の方の利用が見込まれるため、初年度で壊れることが多い。事前に遊具メーカーと初期不良や保証期間の相談をしておくことが望ましい。

・ロッカーと下駄箱の数が足りなくなるケースがあるため、当初から多めに設置しておくことが望ましい。

・消火器について、【運動・体験ゾーン】では子どもの手の届きづらい高さに置いておくことが望ましい。

５　今後の方針

今回のサウンディング型市場調査の結果を踏まえて、子育てを支える機能を集約した拠点施設としての機能や、地域とともに子どもたちの成長を見守る魅力的な施設に向けて、引き続き運営方法の検討を進めてまいります。